東京ジョー（1949）

TOKYO JOE

メディア 映画
ジャンル アクション
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 88分
初公開日 1993/12/18
公開情報 日本ヘラルド映画

【解説】

４９年、戦後まもない東京に、一人の男が帰ってきた。かつて彼は、銀座に“Ｔｏｋｙｏ　Ｊｏｅ’ｓ”というレストランを経営していたが、大戦にパイロットとして従軍。その間に店は人手に渡り、妻は占領軍将校と幸せな再婚生活を送っていた。彼の名はジョー。再会した旧友イトウに紹介されたキムラ男爵から、戦争中の妻の過ち（東京ローズは彼女だった！）をネタに脅かされ、韓国から日本人戦犯を脱出させる企てに加わる。が、その一方で、計画を捜査官にリークする。しかし、裏切りは出発直前に発覚、男爵はジョーの愛娘を誘拐したと告げる……。ボギーが羽田から輪タクに乗り“イッチョウメ、ギンザ……”と行き先を伝えるだけで大爆笑。咥え煙草をポイ捨てしようもんなら、たちまち浮浪者が群がる。イトウと旧交を温めるにも、まずは昔取った杵柄の柔道の取っ組み合い……、と、前半は苦しいのですが、後半はごく普通のハード・ボイルドに納まって参ります。監督が「ダラス」のベテラン、ヘイスラーだからね。

【クレジット】

監督	スチュアート・ヘイスラー	Stuart Heisler
原案	スティーヴ・フィッシャー	Steve Fisher
脚本	バートラム・ミルハウザー	Bertram Millhauser
	シリル・ヒューム	Cyril Hume
撮影	チャールズ・ロートン・Ｊｒ	Charles Lawton Jr.
音楽	ジョージ・アンセイル	George Antheil
出演	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart
	早川雪洲	Sessue Hayakawa
	アレクサンダー・ノックス	Alexander Knox
	フローレンス・マーリー	Florence Marly
	テル・シマダ	Teru Shimada
	ジェローム・コートランド	Jerome Courtland

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.